

地域連携だより



# Face to Face

第43号

役職等はすべて取材日時点のものです。

- 「地域連携だより Face to Face」は、紙年版「顔の見える会議」をコンセプトとした、主に医療職・介護関係職などの、ケアを担う多職種向け情報紙です。地域の様々な情報が皆様に共有されることで、顔の見える関係構築や相互理解推進の一助となることを目指しています。
- 地域連携だよりは、地域包括ケアシステムの充実に資する皆様の取組みを広く一般にも周知するため、市ホームページで公開しています。

## 地域の包括ケア体制の充実にに向けた取り組み 【平田地区】コミュニティカフェ「つながるカフェ」が開催

平田地区センター会議事業「つながるカフェ」は、地域の社会福祉法人（清風会「あいぜんの里在宅介護支援センター」）、社会福祉協議会、釜石市（平田地区生活応援センター等）、そして住民によるサポーターらが協議を重ね開催された多機能カフェです。

### 「平田つながるカフェ」開催趣旨

- ✚ 誰もが住み慣れた場所で最後まで安心して生活できるまちづくりを目指す。
- ✚ 交流・相談・学び等を通じて、孤立予防や心身の健康づくりを図り、地域の安心を支える。
- ✚ つながるカフェを通して、人、団体、情報、知識、技術、制度などの社会資源をつなぐ・つながりあえる場を作る。

あちこちで会話に花が咲きました



笑って泣ける認知症劇「たがら(宝)息子」



11月25日、第1回「つながるカフェ」が開催されました。当日は、福祉学習の支援を行っている「あいぜんの里」と交流を続ける大平中学校生徒の劇や展示が好評を博し、その後のカフェタイムでは、参加者が和やかに交流を深めました。

また、会場の別室には、保健師・介護支援専門員・社会福祉協議会(生活支援コーディネーター)らによる「総合相談窓口」が設置されました。この相談窓口は、困りごとを抱えていてもなかなか相談に至らない住民が、交流をきっかけに気軽に相談し、適切な支援に「つながる」ことを目指す“象徴”として設けられたものです。

平田地区センター会議の取り組みは、地域づくりのプラットフォーム（公・共・私協力しあう場）構築のモデルとして、他地区への横展開が期待されます。今後の展開に注目です！

## 社会福祉法人清風会の皆さんにお話を伺いました

**久保** 震災前から取り組んでいた認知症の寸劇が福祉学習支援のきっかけとなりました。単発ではなくカリキュラムを組んで福祉学習支援を行っている法人は珍しいと思います。価値観の多様性がうたわれる今こそ学校に必要な教育だと感じており、長く続けていければと思います。

**高野** 在宅介護支援センターの事業として、「つながるカフェ」はただのカフェ事業ではないと感じて緊張しましたが、所長をしっかりとサポートしようと取り組みました。



### 福祉学習支援に対する思い

昨今、地域や家庭から子どもと高齢者の交流機会が失われていますが、子どものコミュニケーションスキルを高めるには世代間が知り合うこと、その場を用意することが必要です。また、福祉教育は防災教育と両輪で進める必要があると考え、市の防災教育を指導する片田先生の手法を取り入れました。

### 今後の取り組みについて

24時間365日対応している法人だからこそできる様々なことにしっかり取り組み、地域に貢献していきたいと思っています。



## 【行政職員対象】OKはまゆりネット研修会を開催

10月19日、釜石市保健福祉センターにおいて、行政職員を対象とした「OKはまゆりネット操作研修会」が運営NPO法人の主催で開催されました。当日は、釜石市・大槌町・釜石保健所から出席した保健師・管理栄養士・事務職員が「OKはまゆりネットの操作方法」や「閲覧できる情報種」等を学びました。

後半はグループワークを行い、「OKはまゆりネットのどんな情報が・どんな場面で活用できるか」について様々な意見が交わされました。

今回の研修により、相談対応時に保健師がOKはまゆりネットカードの登録を勧めるなど、地域への普及が進み、よりスムーズな情報連携が広がることが期待されます。

供用開始10年、あらためて活用方法を学びます



## 出前講座“楽しく学ぼう！薬剤師さんのお薬教室”開催



10月14日、小川町内会婦人部の皆さんを対象に、生涯学習まちづくり出前講座の令和3年度新メニュー「楽しく学ぼう！薬剤師さんのお薬教室」が開催されました。

この講座では、前段に「地域包括ケアシステムと在宅医療連携拠点チームかまいし」について行政担当が説明し、続いて釜石薬剤師会の中田副会長が「薬剤師の活用法」について説明する構成としています。ほぼ全員が「薬を飲んでいる」という参加者は、正しい薬の飲み方や薬の副作用、薬局の活用法等について聞き入り、地域包括ケアシステムへの関心を高める機会となりました。

釜石市【出前講座】については ⇒ <https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2019052400131/>

## 第2回地域ケア推進会議

11月26日、今年度2回目の「釜石市地域ケア推進会議」を開催し、34名の委員・オブザーバーが複合的な課題を抱えた世帯について解決策を検討しました。また、前回までの検討内容からみる課題分析結果について寺田委員が発表し、「関係性・身体・お金」の課題解決が重要であると示されました。

次回の会議では、具体的な政策提言に資する協議を行う予定です。

後藤委員に座長を務めていただきました



## 釜石市地域ケア個別会議 (自立支援サポート型)研修会

9月27日、釜石市地域包括支援センターによる研修会が開催されました。午前は居宅ケアマネジャーや介護サービス事業所、午後は地域ケア個別会議（自立支援サポート型）においてケアマネジャーへのアドバイザー役を務める医師等の多職種に向けた内容で、講師の高室成幸氏（ケアタウン研究所）により会議の意義や進め方、有効なケアプランの立て方等について理解を深めました。

オンラインでの参加者も様々な意見を発表しました





## 【二次連携】歯科×他職種(医科・介護支援専門員)研修会

12月1日、山崎歯科クリニック(中妻町)を会場に、「他職種を対象とした歯科口腔内診査のポイント講座～歯科の診察を医科と介護支援専門員が学ぶ～」と題した研修会を開催しました。

参加者(敬称略)

- 釜石歯科医師会…八重樫祐成、山崎薫子、山崎泰嗣
- 釜石医師会…寺田尚弘
- 釜石広域介護支援専門員連絡協議会…留畑丈治



医科診療の器具とは使い勝手が異なります

この研修会は、令和3年度岩手県歯科医師会「歯科医師の認知症対応力向上研修事業」の一環として、また、チームかまいしの連携手法の一つである「二次連携」に位置づけられて実施しています。



緊張の実技

当日は、歯科医師が講師となり、歯科診療の内容や診療に用いる器具について解説する「講義」と、歯科医師による実技指導および医科診療時の口腔内診査の実技からなる「実習」が行われ、医科診療や介護の現場で役立つ歯科の知識・技能が共有されました。

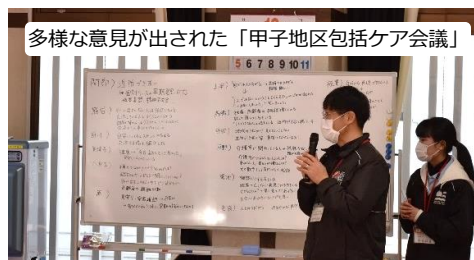
今回の取り組みに至る経緯や結果、考察等については、1月26日開催の多職種対象研修会(三次連携)で発表する予定です。

## 各地区の包括ケア体制の充実に向けた取り組み

市内8地区の生活応援センターでは、地域の福祉課題や地域活動について共有し、課題解決支援や地域資源(サービス)の開発の検討を行う場として「地区センター会議」を開催してきましたが、今年度から「地域で支える必要がある個別ケース」についても協議を始めています。

6月に開催した小佐野地区に続き、11月には釜石地区と平田地区でも「地区センター会議」において「地域ケア個別会議」が実施され、地域で包括的に支援すべき個別事例について多職種や住民らと協議しました。

また、甲子地区では、昨年春に行ったアンケート結果に基づき、地域で取り組む福祉的課題を共有し課題解決に繋げることを目的として「甲子地区包括ケア会議」が開催されました。住民や社会福祉法人職員らが自らの経験や視点による意見を交わした結果、「ゆるやかな見守り・安否確認」に取り組むことが決定しました。



多様な意見が出された「甲子地区包括ケア会議」

## ささえる 事例 検討会

10月28日、釜石情報交流センターを会場に、「かまいしユニゾン第4回ささえる事例検討会」が開催されました。当日は、会場参加の介護事業所職員・行政職員・一般住民のほか、Zoomを通じて多数の医療・介護従事者らが参加しました。

イーハートブ地域包括支援センターの鈴木智之氏と岩手介護コミュニティ協会の藤原陽介氏が講師を務める事例検討会では、「解決すべき課題」の他に「できること等のポジティブな要素」についても協議することで、多職種が担当者を、担当者が本人を支える前向きな支援のコツを学びました。



オンラインでもグループワークが活発に行われました

主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー/主任CM）は、一定の実務経験や「主任介護支援専門員研修」の受講等が要件となる、介護支援専門員の上級資格です。

主任介護支援専門員の皆さんには、介護に関わる多様なサービス（医療、福祉、行政等）の連携ネットワークの向上、他ケアマネジャーの育成・指導、ケアプラン作成支援、地域包括ケアシステムを進める実践者としての活動、事例検討会開催などの地域課題への取り組み…などの役割が期待されています。



### 仙人の里指定居宅介護支援事業所

#### 菊池 由布子 さん

- 主任CMとしての意気込み  
地域の困りごとを一緒に考えていけるようなケアマネになりたいです。
- 多職種の皆さんへ一言  
皆さんの力やお知恵を借りながら頑張りたいです。よろしくをお願いします！



CM歴：14年  
主任CM歴：8年

### 仙人の里指定居宅介護支援事業所

#### 湊 恵美 さん

- 主任CMとして注力したいこと  
社会資源を活用することで、介護保険サービスでは難しい問題を補足していきよう努めたい。  
そのためにも地域課題や必要な社会資源の提案をしていきたいです。



CM歴：11年  
主任CM歴：5年

### 指定居宅介護支援事業所さくら

#### 紺野 由佳 さん

- 主任CMとしての意気込み  
視野を広く持って利用者さんと関わりたいと思っています。
- 主任CMとして注力したいこと  
知識不足を痛感することが多いので、知識量を増やしていきたいと思っています。



CM歴：15年  
主任CM歴：2年弱

### はまゆい在宅介護支援センター

#### 阿部 克巳 さん

- 地域づくりの活動に参加して…  
地域ケア会議等に参加して地域住民や多職種の方々の意見を伺うと、自分達と違う視点で気づかされることがあります。
- 多職種の皆さんへ一言  
一緒に地域の課題を考え、安心して生活できる釜石市になれば良いと思います。



CM歴：19年  
主任CM歴：6年

### はまゆい在宅介護支援センター

#### 細川 進 さん

- 主任CMとして注力したいこと  
認知症の人とあゆむ会（認知症家族会）の活動を周知し、地域住民の認知症の理解を推進していきたいです。
- 多職種の皆さんへ一言  
自分から声を掛けるのが苦手なので、声を掛けていただくと嬉しいです。



CM歴：16年  
主任CM歴：8年

### はまゆい在宅介護支援センター

#### 川畑 春一郎 さん

- 主任CMとしての意気込み  
自立とアドバイスのできるケアマネになりたいです。また、今後は時代に即したデジタルの活用に取り組みたいです。
- 多職種の皆さんへ一言  
ケアマネは相談と多職種とをつなげる仕事です。今後もよろしくお願いします。



CM歴：約15年  
主任CM歴：8年

### はまゆい在宅介護支援センター

#### 嶋岡 貴士 さん

- 主任CMとしての意気込み  
コロナ禍で多職種連携の形が変わりつつある中で、岩手県介護福祉士会、釜石広域介護支援専門員連絡協議会での職能団体の活動を中心に、多職種での意見交換や交流の場を作り、楽しい連携環境を目指しています。



CM歴：13年  
主任CM歴：5年

### はまゆい在宅介護支援センター

#### 小山 恵 さん

- 地域づくりの活動に参加して…  
一人暮らしや高齢者世帯など、民生委員や隣近所へご挨拶に伺うようにしています。顔見知りとなることで連携できることがあります。これからも地道にやっていますので、皆様よろしくお願いします😊



CM歴：9年  
主任CM歴：3年



主任介護支援専門員の皆さんの「顔と名前と心意気」、不定期連載でご紹介します！

【発行】在宅医療連携拠点チームかまいし

〒026-0025 釜石市大渡町3丁目15番26号 釜石市地域包括ケア推進本部事務局

TEL 0193-55-4536 FAX 0193-22-6375 E-mail kea@city.kamaishi.iwate.jp

【HP】<https://www.city.kamaishi.iwate.jp/category/bunya/tiikihoukatukea/zaitakuiryourenkei/>

【FB】<https://www.facebook.com/teamkamaishi/>

QRコード読み取りでスマホからアクセスできます♪→

ホームページ



Facebook

